

龍勢



自立 共生 郷土愛
～自分らしく輝く子～

藤枝市立朝比奈第一小学校

令和3年度 学校だより

令和4年1月6日 第20号

あけまして おめでとうございます

旧年中は、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



すごかった金メダル

夢・目標を持つこと そして、コツコツ努力すること

あけましておめでとうございます。今日から3学期が始まりますが、2学期の終業式でお話した「令和3年の振り返りと令和4年の誓い」は冬休みの間にしっかりできましたか？ぜひ、「自分らしく輝く」ために、3学期も頑張っていきましょう。

さて、昨年はコロナで大変な一年でしたが、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本人選手の大活躍によりとても盛り上がりました。昨年末、校長先生はある金メダリストに会ってきました。それは、ソフトボールの山崎選手です。実は、オリンピックで活躍した渥美選手と山崎選手は、以前、校長

先生が中学生（中体連）のソフトボール静岡県選抜の監督を10年ほど務めていた時の教え子なのです。

渥美選手は、浜松曳馬中出身で、中学生の時から守備（ショート）に関しては抜群に上手でした。山崎選手は、掛川北中出身で、中学生の時から強肩強打の選手で、当時はキャッチャーとして活躍しました（オリンピックではレフト）。

渥美選手と山崎選手は、年齢が渥美選手の方が2つ年上ですが、二人とも中学卒業後は、常葉

菊川高校へ進学し、その後、実業団チームのトヨタ自動車で活躍しました。そして、日本代表・・・東京オリンピックでレギュラーメンバーとして金メダル・・・本当にたいしたものです。

オリンピック後は、二人とも忙しく（すぐにリーグ戦が始まったり、テレビやイベントに出たりで）、なかなか会えませんで





したが、ようやく昨年末に山崎選手に会えて、金メダルを見たり、触ったり、首にかけたりさせてもらいました（かじってはいません）。金メダルは、ピカピカで、大きくて、厚くて、重くて…、校長先生も興奮してしまいました。

山崎選手に話を聞くと、実業団に入ってから5年間ほどは、先輩たちについていくのがやっと…、少しずつ試合に出るようになり、レギュラーになり（2020日本リーグでMVP・首位打者・打点王）、日本代表を意識するようになり、日本代表になってからは金メダルを目指して、とにかくコツコツ練習やトレーニングに励んできたとのこと。しかし、コロナでオリンピックが一年延期した時は、心を整えることに苦労したということも話していました。

朝一小では、本年度から「ステップ9～なりたい自分づくり～」に挑戦しています。いつも自分の夢や目標を持ち続け、それに向かってコツコツと努力できる人になって下さい。

渥美選手も、山崎選手も確かに中学時代からソフトボールが上手でした。校長先生も、将来は実業団（日本リーグ）ではそれなりに活躍できるかな？とは思っていましたが、まさか日本代表になり、そこでレギュラーとなり、そして金メダルを取るとは…。二人の努力には本当に頭が下がります。二人の“自分の夢・目標をしっかりと持ち、そして、それに向かって努力することができた”ことが金メダルにつながったのです。



山崎選手に朝一小のみんなにサインを書いてもらいました。渥美選手のサインももうすぐ届く予定です。あと、渥美・山崎選手と同じチームの後藤選手（愛知県名古屋市出身・東京オリンピックではリリーフピッチャーとして活躍、次世代の日本代表エース候補）のサインも山崎選手を通してお願いをしています。3人の金メダリストのサインを学校に飾りますので、みんなで金メダルパワーをもらいましょう。



渥美選手



山崎選手

